

地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの推進

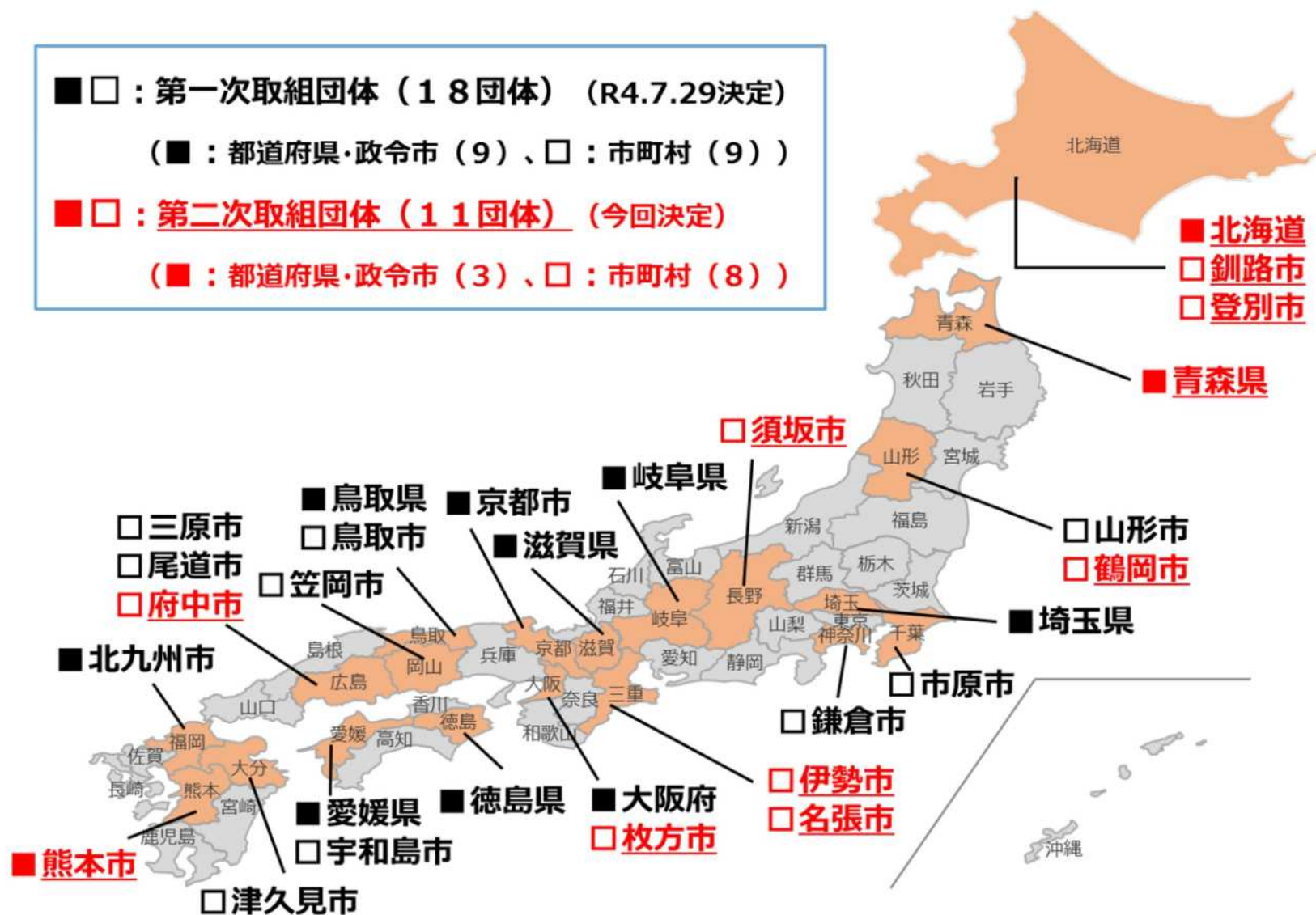
スケジュール(イメージ)

- 実施期間は9～2月を見込む。決定後、早期に準備会の設置や関係者の研修会を開催し、問題意識を共有。
- 孤独・孤立対策に取り組む対象自治体に対し、プラットフォームの立ち上げや自治体のニーズに応じた孤独・孤立対策事業を実施する際、コンサル等によるサポートと事業費支援により、きめ細かく側面支援。
- 各団体の状況を見ながら、中間報告会を実施し、対象自治体の状況を共有。各団体の成果を報告書に取りまとめ、その活動について各ブロックで説明会を実施。最終的に報告書を取りまとめ全国の自治体に共有。

	支援団体間の連携強化	地域内の現状把握	住民の認知向上意識向上	専門人材等の育成・確保
9月	事業参加自治体の公募、選定、発表(随時)	各自治体の実情に応じて選択して実施 ※必要となる事業費は、一定額の範囲で受注者が支払 (1団体あたり都道府県・政令市1,200万円、市町村600万円)		
10月	準備会立ち上げ、研修会実施			
11月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">支援組織の活動について相互理解(事例発表など)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">プラットフォーム参加団体の選出</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">既存組織活用か、新設か</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">各自治体の活動について調査・分析</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">支援対象者は地域内にどのぐらいいるか、地域資源のデータを共有</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">孤独・孤立の問題について自治体内の住民に認知してもらう事業や手法を検討</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">専門人材等の現状、育成状況の把握</div>
12月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【熟度によっては以下の議論も実施】 ・複合的に困難な状況になっている方々をどう支援するか(自殺、8050、ひきこもり、シングルマザー、ヤングケアラーなど) ・行政の施策や取組にアクセスしないが困っている方々をどう支援するか(広報周知、アウトリーチ型支援、個人情報共有、無関心層の取り込み) ・地域内につながりをつくる場づくりなど予防的な対応ができないか ・これまでにない手法で事業展開できないか(複数年事業の実施、域外NPO等がオンライン提供するサービス利用)など</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">実情に応じて、実態把握調査や地域資源の整理(マップ化)を実施。関係者へ周知・広報、来年度予算要求など対応</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">関係者の連携によるイベント開催、対象者を絞った普及広報、ポータルサイト作成</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">専門性の高い研修とともに、身近な相談者となり得る方を増やす研修の創設・実施を検討。 【例】リンクワーカー養成研修(三重県)、ゲートキーパー研修(厚労省)</div>
1月				
2月以降	プラットフォームの立ち上げ(早期も可)			
状況に応じて	事例報告会で各団体の状況が共有			
	報告書とりまとめ、全国説明会で自治体に共有			

地方版「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」推進事業 (取組団体(地方自治体)一覧(計29団体(都道府県・政令市:12、市町村:17)))

- □ : 第一次取組団体 (18団体) (R4.7.29決定)
(■ : 都道府県・政令市 (9)、 □ : 市町村 (9))
- □ : 第二次取組団体 (11団体) (今回決定)
(■ : 都道府県・政令市 (3)、 □ : 市町村 (8))



内閣官房「地方版官民連携プラットフォーム推進事業」実施内容

地域内の現状把握

•北九州市におけるひきこもり等に関する調査

- R4.3に実施した「生活状況に関する実態調査」の精査・分析

•人々のつながりに関する基礎調査

- R3.12に国が実施した孤独・孤立の実態把握に関する調査と同様の調査を市民を対象に実施する。

住民の認知向上

•意識向上

•孤独・孤立に関する講演会開催

- R5.2に開催予定の「第11回 北九州市いのちをつなぐネットワーク推進会議参加者」を対象に、孤独・孤立の問題に対する理解を促進するために、孤独・孤立対策に関する著名な有識者による講演会を開催する。

•お悩みハンドブック北九州版の周知

- 市民の相談事や困りごとを言語化するとともに必要な支援を自動回答する「お悩みハンドブック」を、インターネット広告などにより周知する。

専門人材等の育成・確保

•孤独・孤立協議会ケーススタディ実施

- 孤独・孤立協議会参加団体の、支援事例や連携実績などを元にケーススタディを開催し、支援関係者の支援の質の向上や支援の輪の拡大につなげる。

•支援者向け研修会

- 支援関係機関を対象に、「ゲートキーパー」「伴走型支援」などの研修会を開催し、支援関係機関の育成及び質の向上を図る。

地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業 スケジュール概要

2022～2023		10月	11月 📄 中間報告	12月	1月 📄 全国説明会	2月 📄 全国説明会	3月
調査・研究	人々のつながりに関する基礎調査		住基利用申請	アンケート実施	集計・分析		
	北九州市におけるひきこもり等に関する調査		分析内容検討	分析内容報告			
研修・広報・啓発	市民向け講演会			講演会講師選定		孤独・孤立に関するシンポジウム @いのちネット 推進会議	
	お悩みハンドブック インターネット広告			周知・啓発のためのノベルティ作成		インターネット広告実施	
	孤独・孤立協議会 ケーススタディ			協議会参加団体 1～2団体 ★ 孤独・孤立協議会			協議会参加団体 2～3団体 ★ 孤独・孤立協議会
	支援能力向上研修				研修テーマ、講師選定	協議会参加団体等を対象とした研修会の実施	

北九州市 孤独・孤立対策 支援者向け研修会

テーマ

普段の支援に新たな視点を
～孤独・孤立の問題は予防できる～

日時 令和5年2月8日（水）～ 2月10日（金）

会場 北九州市小倉北区浅野三丁目8-1
AIM3階 314・315 会議室

定員 各講座 75名（先着順） **受講料** 無料

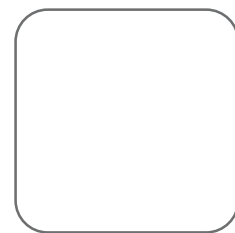
申込期間：令和5年1月4日（水）～1月20日（金）
裏面のカリキュラムから選択して受講することができます！

【お申込み・問い合わせ先】

右のQRコードから電子申請システムでお申し込みください。⇒

TEL：093-582-2060

北九州市保健福祉局地域福祉推進課 孤独・孤立担当





研修カリキュラム



2月8日 (水)

受付：8：30～9：00

スケジュール	テーマ (内容)	講師
9:00～ 9:15	オリエンテーション	
9:15～10:00	孤独・孤立対策の現状	保健福祉局 孤独・孤立対策担当課長 原田 充修
10:00～11:40	※ コロナ禍で顕在化した 生きづらさを抱える若年女性の実態と支援	(一社) ソーシャルワーク・オフィス福岡 代表 筑紫女学園大学 准教授 大西 良
13:00～15:00	傾聴と対話	(社福) 北九州いのちの電話 副理事長・研修委員長 富安 兆子
15:10～16:40	生き辛さを抱える人たちの理解 ～依存症と自傷行為～	北九州市立精神保健福祉センター 技術支援担当係長 宇佐美 貴士

※ 本カリキュラムは、総務局男女共同参画推進課の「困難を抱える女性に寄り添う緊急支援事業」として実施

2月9日 (木)

受付：8：30～8：50

スケジュール	テーマ (内容)	講師
8:50～10:20	～相談者が安心して話せるために～ ケースワークの7つの原則	NPO 法人チャイルドライン北九州 理事長 北九州市立大学 名誉教授 河嶋 静代
10:30～12:00	「ひとりにしない」という支援 ～伴走型支援とは何か～	NPO 法人 抱樸 理事長 奥田 知志
13:00～14:30	心の健康管理 ～メンタルヘルスを学ぶ～	産業医科大学 医学部 精神医学教室 准教授 新開 隆弘
14:40～15:40	発達障害への気付きと対応方法	北九州市発達障害者支援センター 「つばさ」センター長 金光 律子
15:50～16:50	困難を抱える人への就労支援	北九州市子ども・若者応援センター 「YELL」センター長 村上 博志

2月10日 (金)

受付：8：50～9：20

スケジュール	テーマ (内容)	講師
9:20～10:50	ヤングケアラーとは ～支援の中で気付くための注意点～	北九州市立大学 基盤教育センター・地方創生群 准教授 寺田 千栄子
11:00～12:00	「見えない」相談者と向き合うため ～大人や女性のひきこもり～	北九州市ひきこもり地域支援センター 「すてっぴ」センター長 田中 美穂
13:00～15:00	大切な人を支えたい ～ゲートキーパー研修～	北九州市立精神保健福祉センター いのちとこころの支援係長 鎌谷 友子
15:10～16:40	児童虐待の現状と支援の中での気付き	北九州市子ども総合センター 児童虐待対策担当課長 北崎 賢